

工事設計認証に係る特性試験の結果・測定器等

1. 一般事項

型式又は名称	S-730用無線操作器 WL-C730	試験年月日	2022/9/9
製造番号	ES3-0001	試験場所	神奈川県横浜市都筑区佐江戸町600番地 パナソニックコネクト株式会社
電波の型式、周波数及び空中線電力	F1D 923.6MHz、923.8MHz、924.0MHz、924.2MHz 200kHz間隔4波、5mW	備考	・テレメーター用、テレコントロール用及びデータ伝送用特定小電力機器（920MHz帯）の特性試験方法（第7.0版） ・TELEC-T245

2. 測定器等

名称	型式	製造番号	製造者名	較正年月日	較正機関	備考	各測定器の試験項目
シグナルアナライザー	MS2830A	6262191631	アンリツ	2021/9/9	パナソニックSNEバリュエーション	電波法第24条の2第4項二号ロ	周波数偏差、占有周波数帯幅、スプリアス又は不要発射、隣接チャンネル漏洩電力、副次発射強度
シグナルアナライザ	N9020A	MY52090637	アジレントテクノロジー	2022/3/31	パナソニックSNEバリュエーション	電波法第24条の2第4項二号ロ	キャリアセンス、送信時間制限
高周波電力計	E4417A	6B41291253	アジレントテクノロジー	2022/7/28	パナソニックSNEバリュエーション	電波法第24条の2第4項二号ロ	空中線電力
パワーセンサー	8482A	3318A29900	アジレントテクノロジー	2022/7/28	パナソニックSNEバリュエーション	電波法第24条の2第4項二号ロ	
電圧計	34401A	3146A35005	アジレントテクノロジー	2021/11/30	パナソニックSNEバリュエーション	電波法第24条の2第4項二号ロ	電圧確認
SG	E4432B	US38080178	アジレントテクノロジー	2021/11/10	パナソニックSNEバリュエーション	電波法第24条の2第4項二号ロ	キャリアセンス

3. 測定結果

試験機器の状態	試験項目	単位	常圧の-10% (DC8.1V)			常圧 (DC9.0V)			常圧の+10% (DC9.9V)			備考
						923.6	923.8	924.2				
常温（26℃） 常湿（65％）	周波数（測定値）	MHz				923.59958	923.79962	924.19964				
	±20×10 ⁻⁶ 以内（偏差）	ppm				-0.455000	-0.411000	-0.390000				
	占有周波数帯幅 200kHz以下	kHz				97.000	97.000	97.000				
	スプリアス発射又は不要発射の強度	dBm				-79.710	-79.000	-79.780				
	30～710MHz	MHz				644.720	91.880	77.600				
	スプリアス発射又は不要発射の強度	dBm				-65.580	-64.920	-64.920				
	710～900MHz	MHz				820.010	820.010	819.820				
	スプリアス発射又は不要発射の強度	dBm				-78.600	-78.290	-78.470				
	900～915MHz	MHz				914.580	914.295	914.835				
	スプリアス発射又は不要発射の強度	dBm				-66.600	-67.740	-66.670				
	930～1000MHz	MHz				930.910	931.820	932.520				
	スプリアス発射又は不要発射の強度	dBm				-67.000	-67.100	-67.560				
	1000～1215MHz	MHz				1056.223	1065.575	1000.640				
	スプリアス発射又は不要発射の強度	dBm				-51.840	-52.850	-52.100				
	1215～5000MHz	MHz				1847.095	1847.095	1847.095				
	スプリアス発射又は不要発射の強度	dBm				-48.140	-43.330	-45.450				分解能帯域換算値
	915～fc-300kHz	MHz				923.292	923.500	923.900				
	スプリアス発射又は不要発射の強度	dBm				-45.500	-46.440	-46.140				分解能帯域換算値
	fc+300kHz～930MHz	MHz				923.906	924.105	924.506				
	空中線電力（測定値）	mW				4.266	4.365	4.677				
	5mW+20%～80%以内（偏差）	%				-14.68	-12.70	-6.460				
	隣接チャンネル漏えい電力（下側）	dBm				-28.110	-28.700	-27.510				相対値結果と空中線電力より算出
	～15dBm以下（上側）	dBm				-28.040	-28.540	-27.490				
	副次的に発する電波等の限度	dBm				-79.440	-80.180	-78.760				
	～710MHz	MHz				77.600	115.000	93.240				
	副次的に発する電波等の限度	dBm				-67.060	-68.920	-68.310				
	710～900MHz	MHz				820.010	820.200	820.010				
	副次的に発する電波等の限度	dBm				-79.550	-80.710	-81.940				
	900～915MHz	MHz				911.805	903.930	903.780				
	副次的に発する電波等の限度	dBm				-81.360	-81.550	-81.260				
	915～930MHz	MHz				925.590	924.990	915.840				
	副次的に発する電波等の限度	dBm				-81.030	-80.580	-80.100				
	930～1000MHz	MHz				985.650	999.580	981.870				
	副次的に発する電波等の限度	dBm				-64.530	-64.370	-63.500				
	1000～5000MHz	MHz				3924.400	3892.400	4075.600				
	送信時間制限装置	良・否				良	良	良				
	キャリアセンス機能	良・否				良	良	良				

注1： 周波数帯ごとに記載して下さい。

注2： 証明規則第17条第4項但書（追加報告）に該当する場合は、「実施した試験法」を記載して下さい。

注3： 較正の該当条項（電波法第24条の2第4項第2号イ～ニのいずれか）を備考欄に記載して下さい。

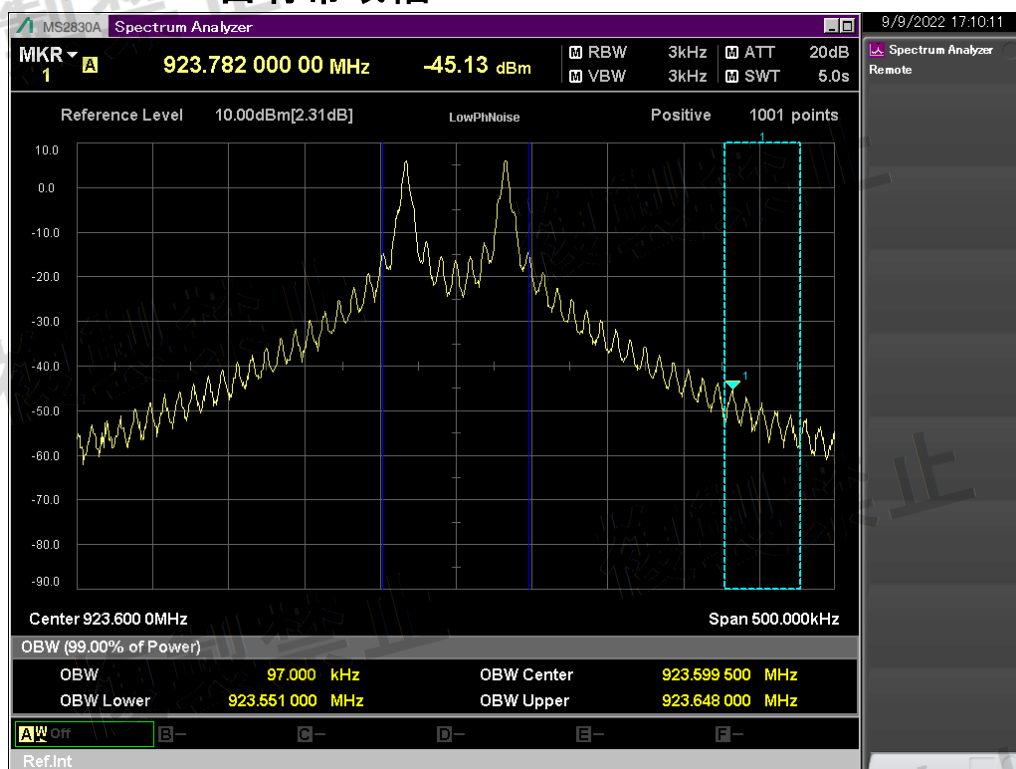
注4： 較正等の期間延長に係る測定器等（証明規則第3条の2に該当する測定器等に限る）で、較正等を行った年月日の翌月の1日から起算して当該測定器等を使用した年月日までの期間が1年を超えている場合は、その旨を記載して下さい。また、測定器等の仕様を示す書類（パンフレット等）及び製造年月日が確認できるもの（いずれもコピーで可）を添付して下さい。

注5： 試験項目、単位は特定無線設備の種別に合わせて修正して下さい。

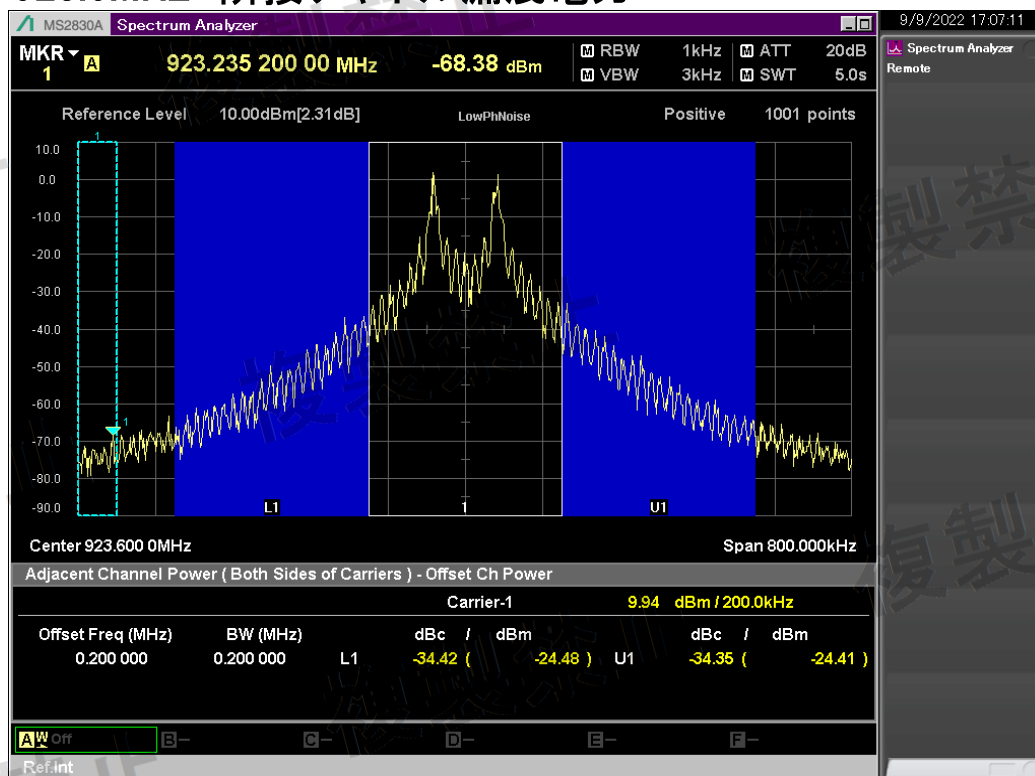
注6： 試験周波数（各周波数帯の上中下の周波数）を記載して下さい。

注7： 試験場所の温度及び湿度を記載して下さい。

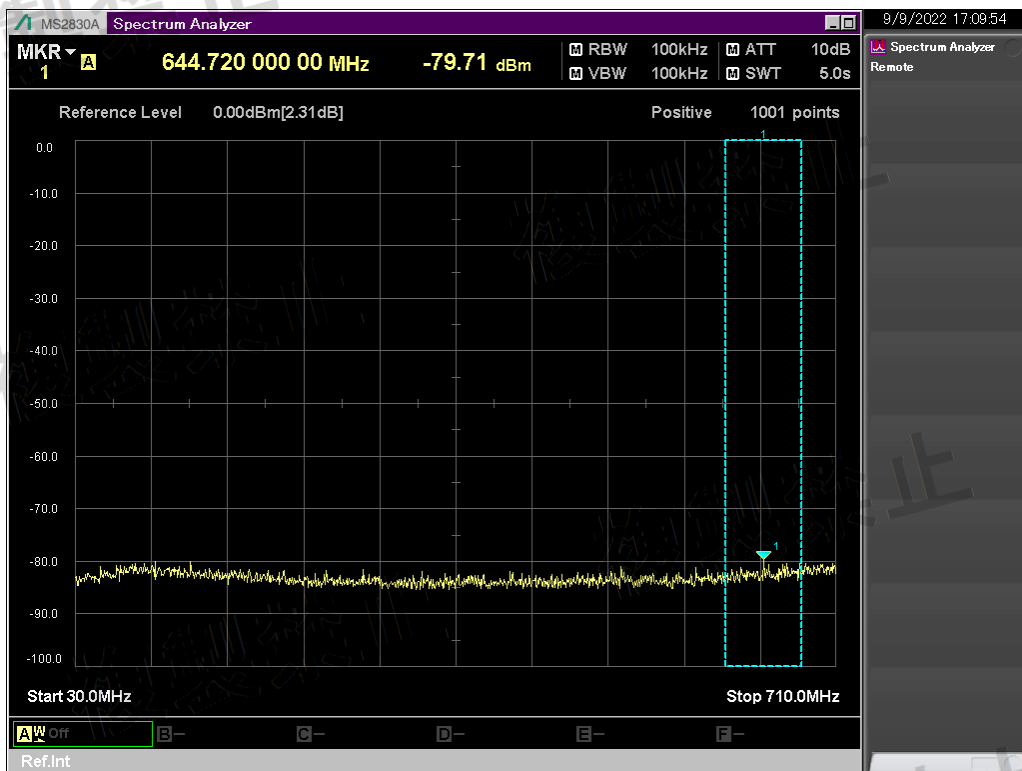
923.6MHz 占有帯域幅



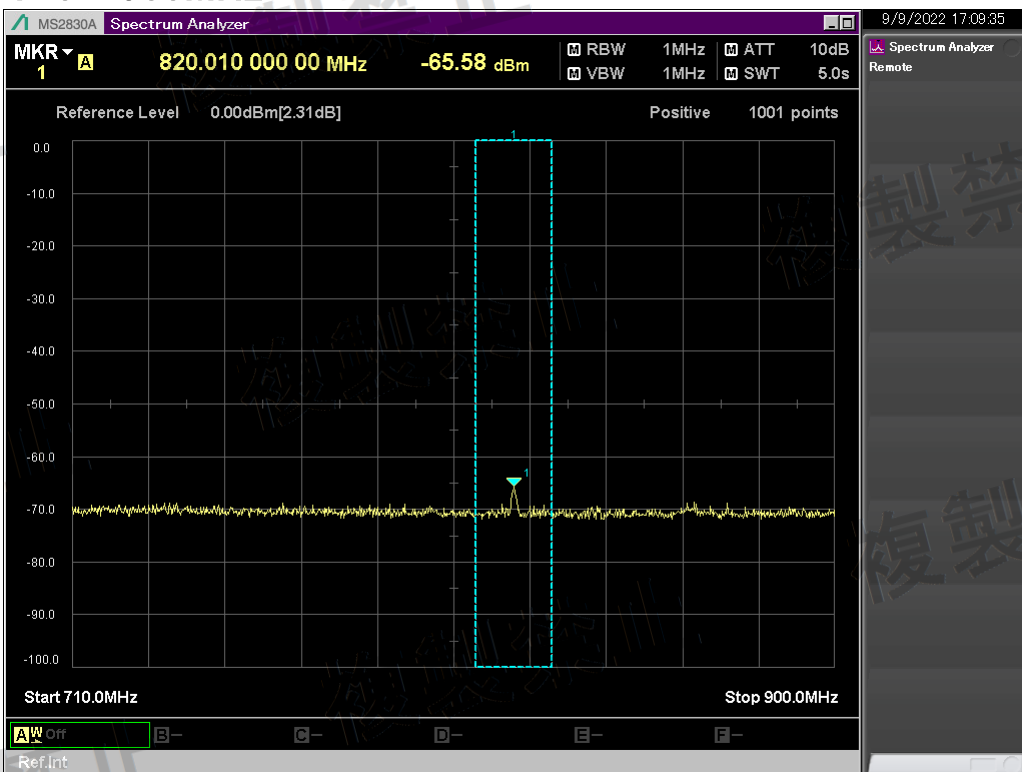
923.6MHz 隣接チャネル漏洩電力



923.6MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
30~710MHz



923.6MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
710~900MHz



MS2830A Spectrum Analyzer 9/9/2022 17:09:16

MRK 1 A 914.580 000 00 MHz -78.60 dBm

RBW 100kHz ATT 10dB
VBW 100kHz SWT 5.0s

Reference Level 0.00dBm[2.31dB] Positive 1001 points

Start 900.00MHz Stop 915.00MHz

AW Off B- C- D- E- F-

Ref.Int

MS2830A Spectrum Analyzer 9/9/2022 17:08:57

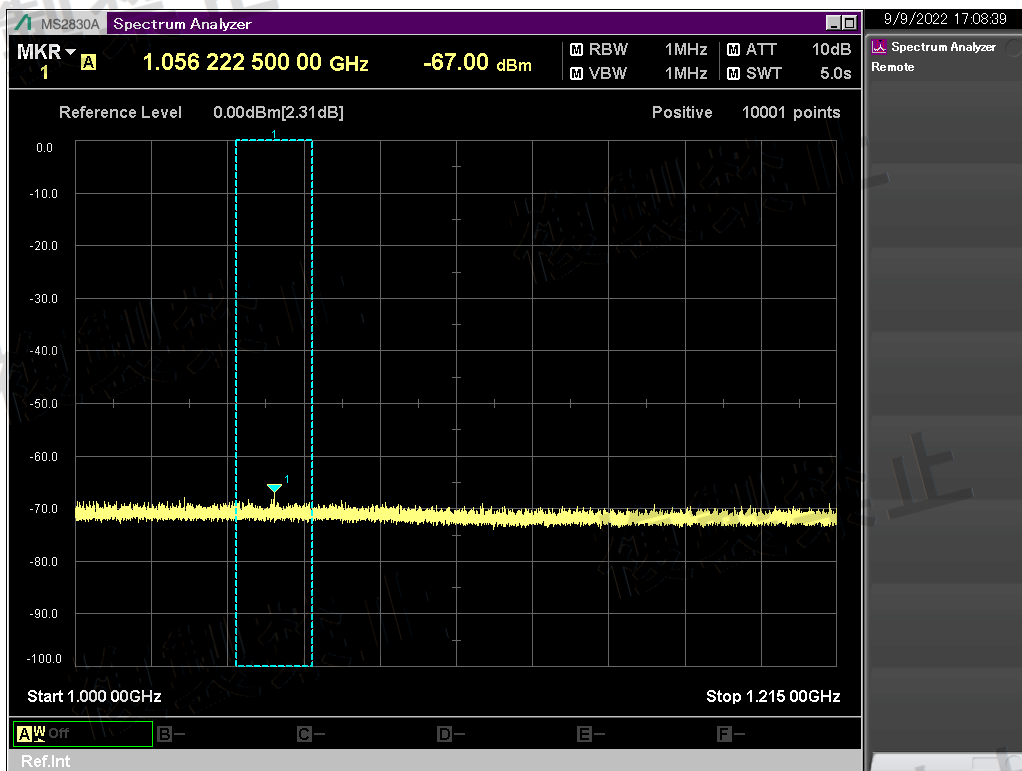
MKR 1 930.910 000 00 MHz -66.60 dBm RBW 100kHz ATT 10dB
1 VBW 100kHz SWT 5.0s

Reference Level 0.00dBm[2.31dB] Positive 1001 points

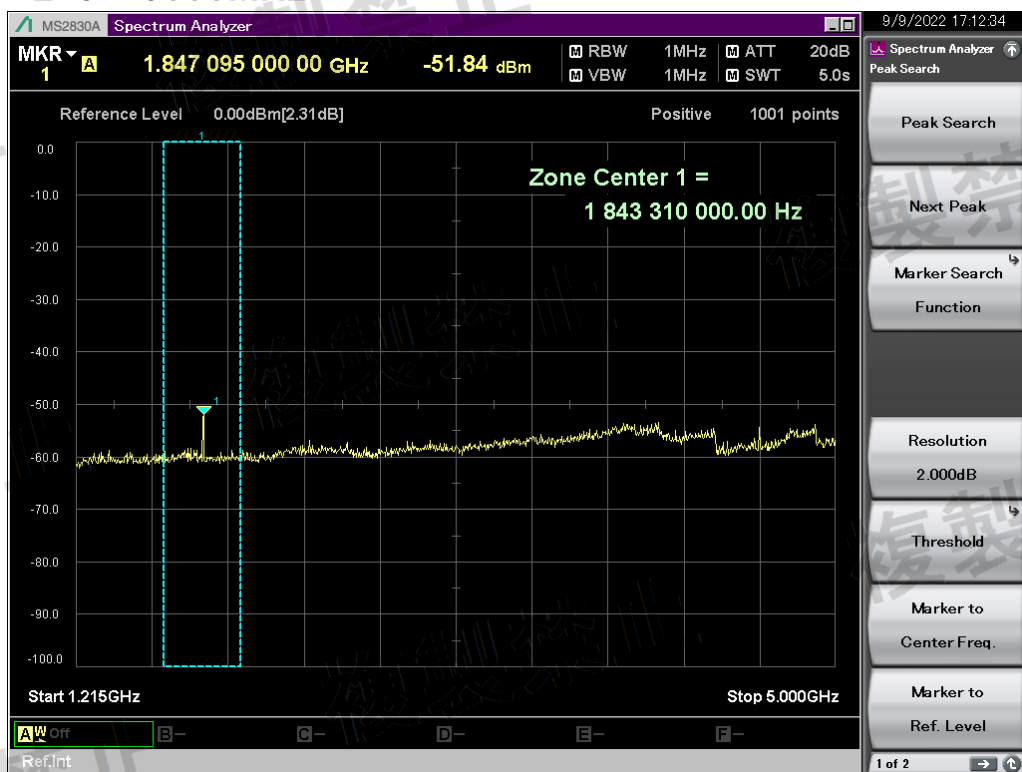
Start 930.00MHz Stop 1.000 00GHz

AW Off

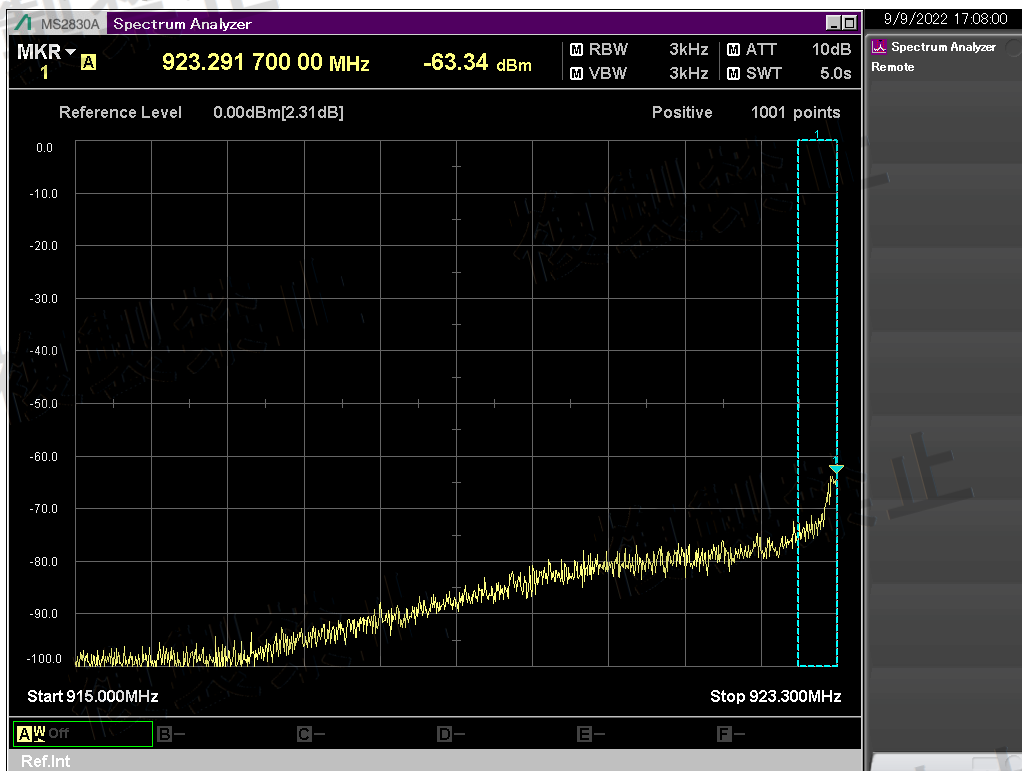
923.6MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
1000~1215MHz



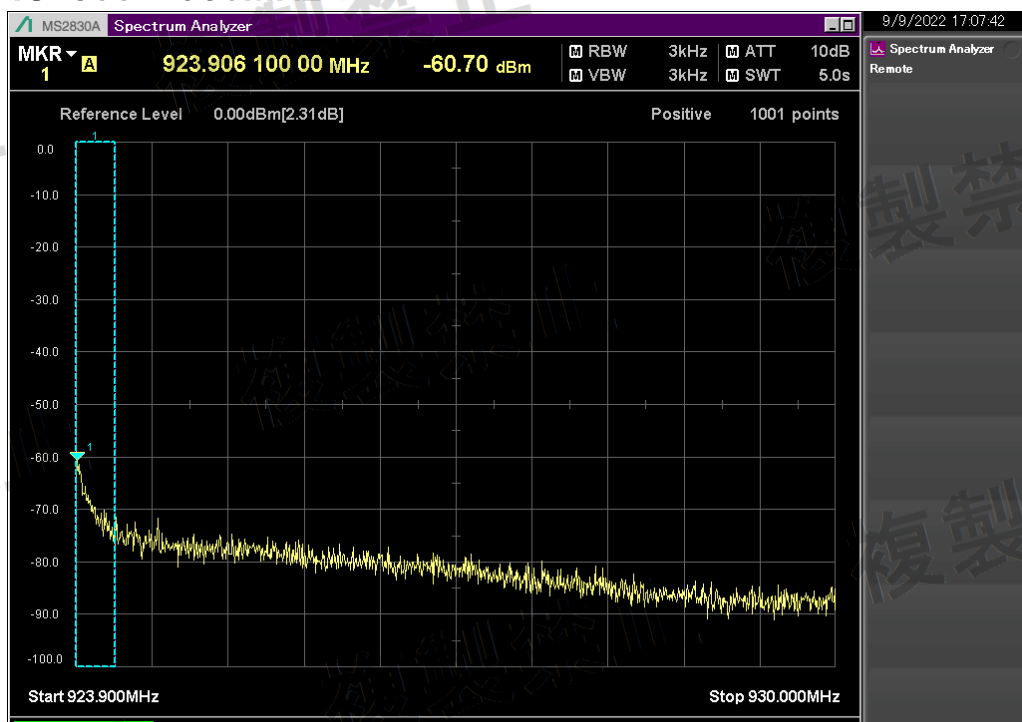
923.6MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
1215~5000MHz



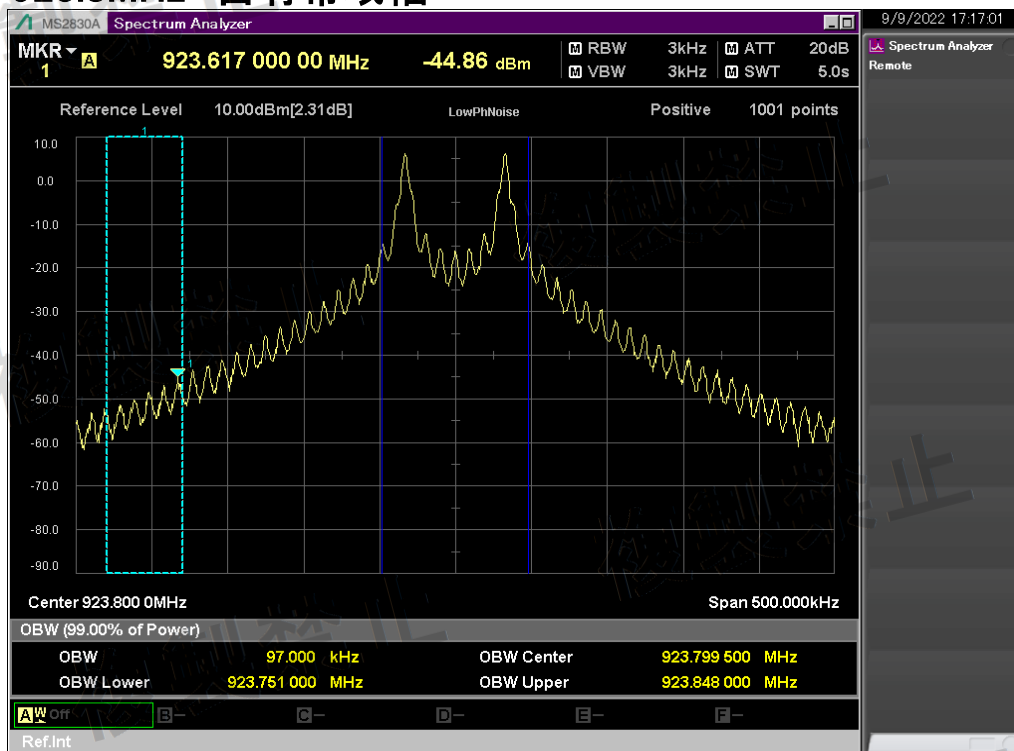
923.6MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
915～fc-300MHz



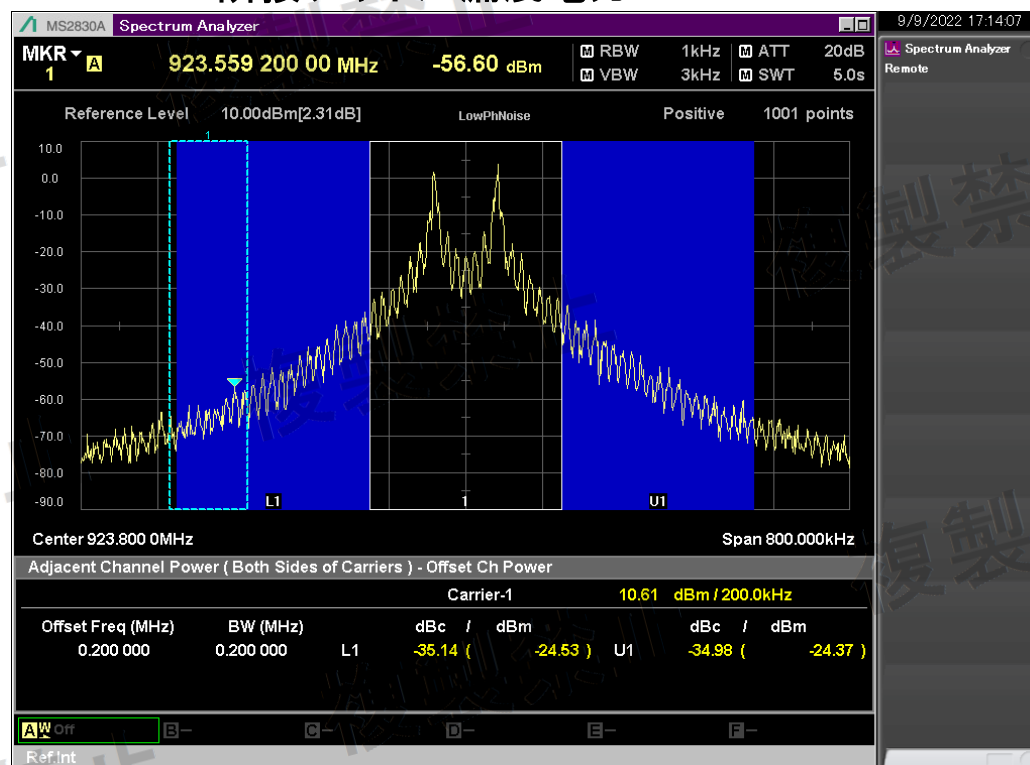
923.6MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
fc+300～930MHz



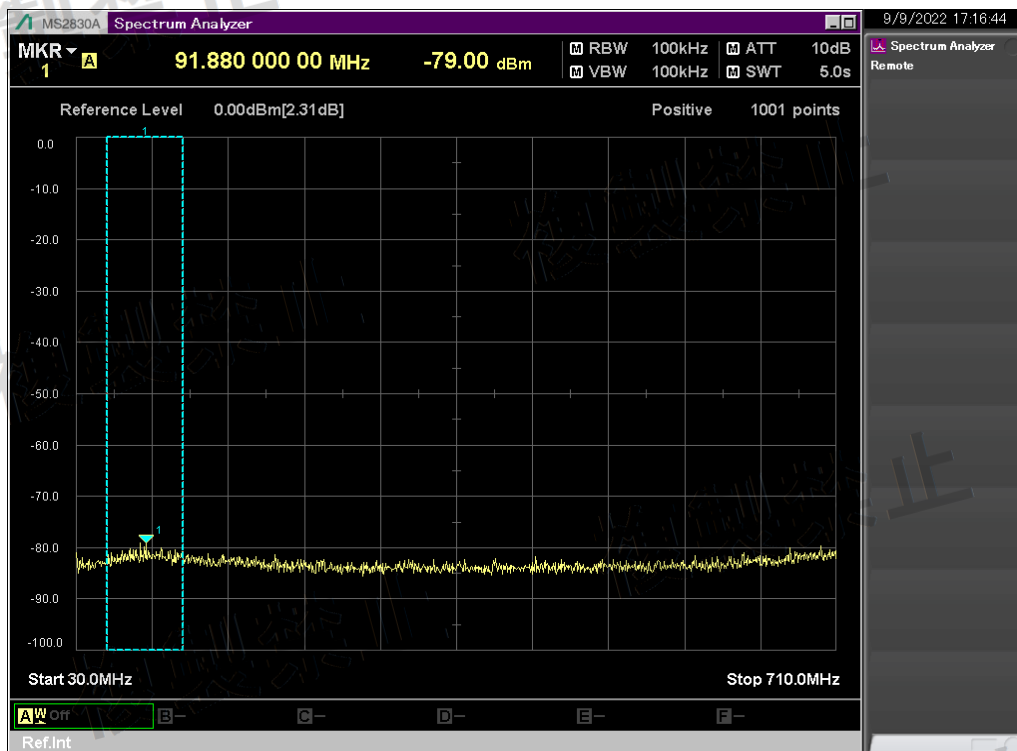
923.8MHz 占有帯域幅



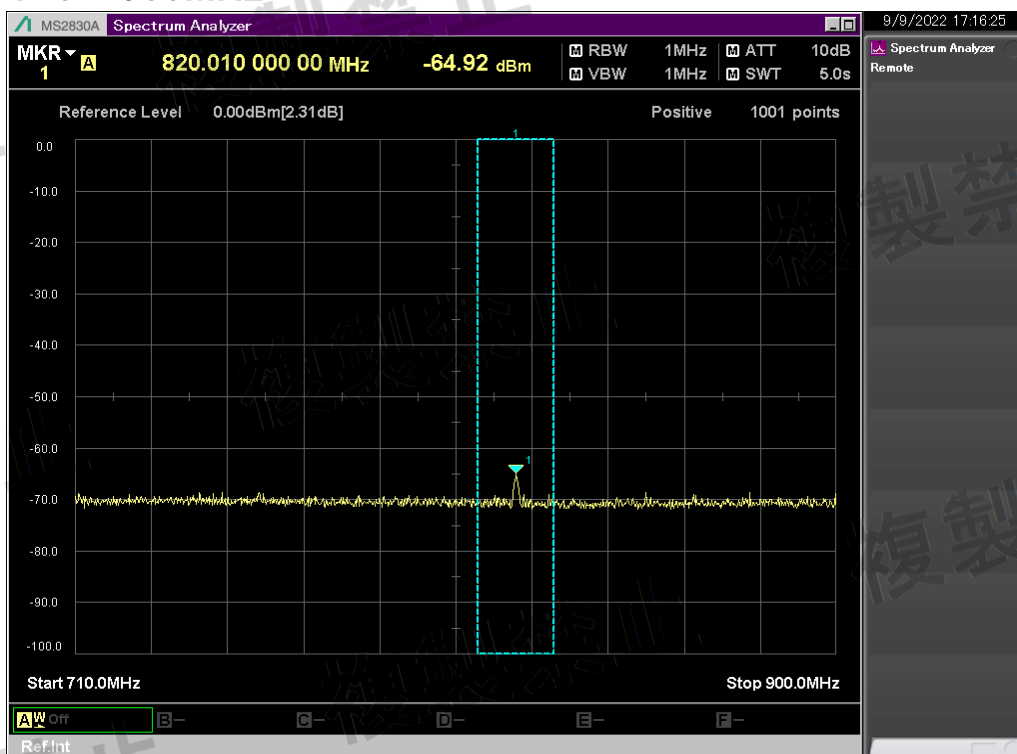
923.8MHz 隣接チャネル漏洩電力



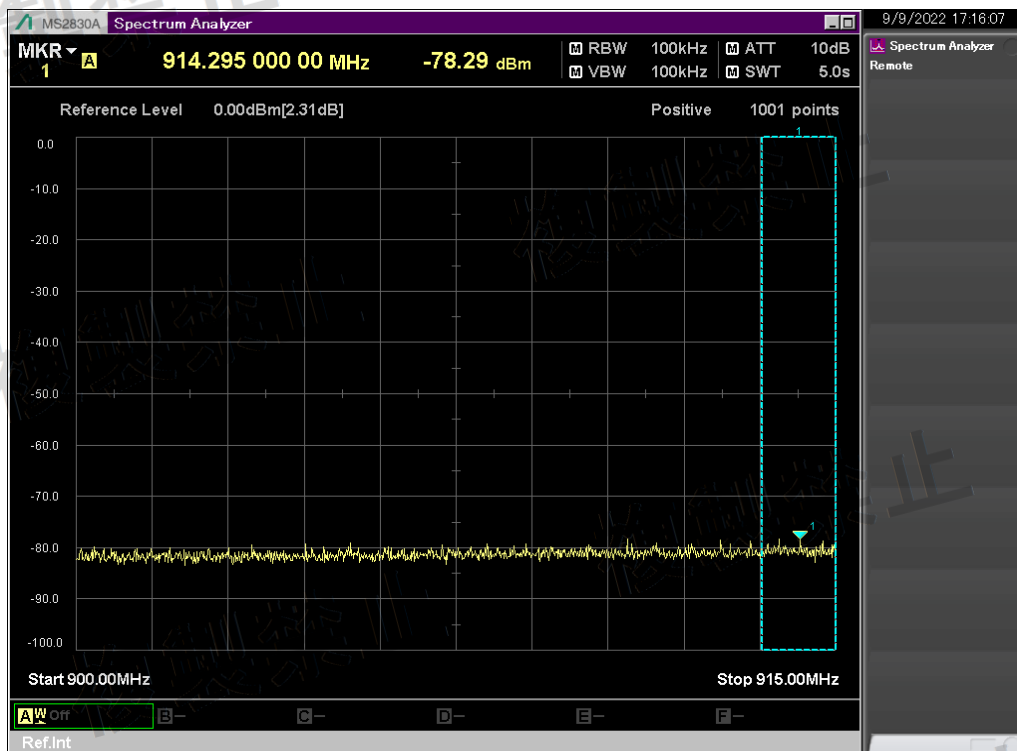
923.8MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
30~710MHz



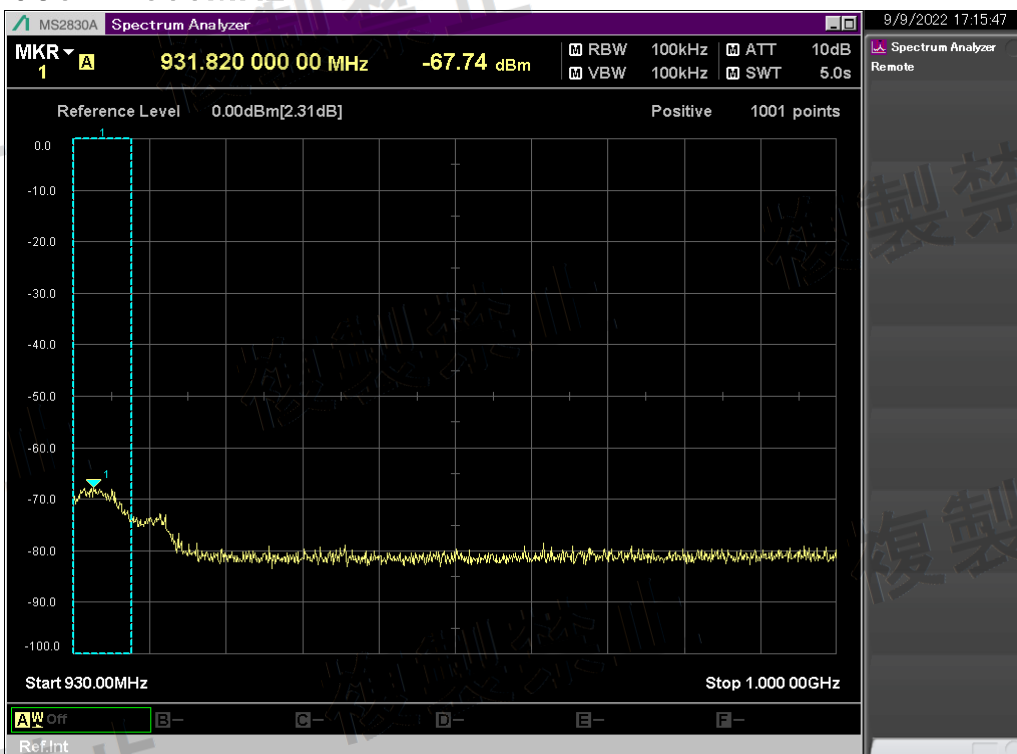
923.8MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
710~900MHz



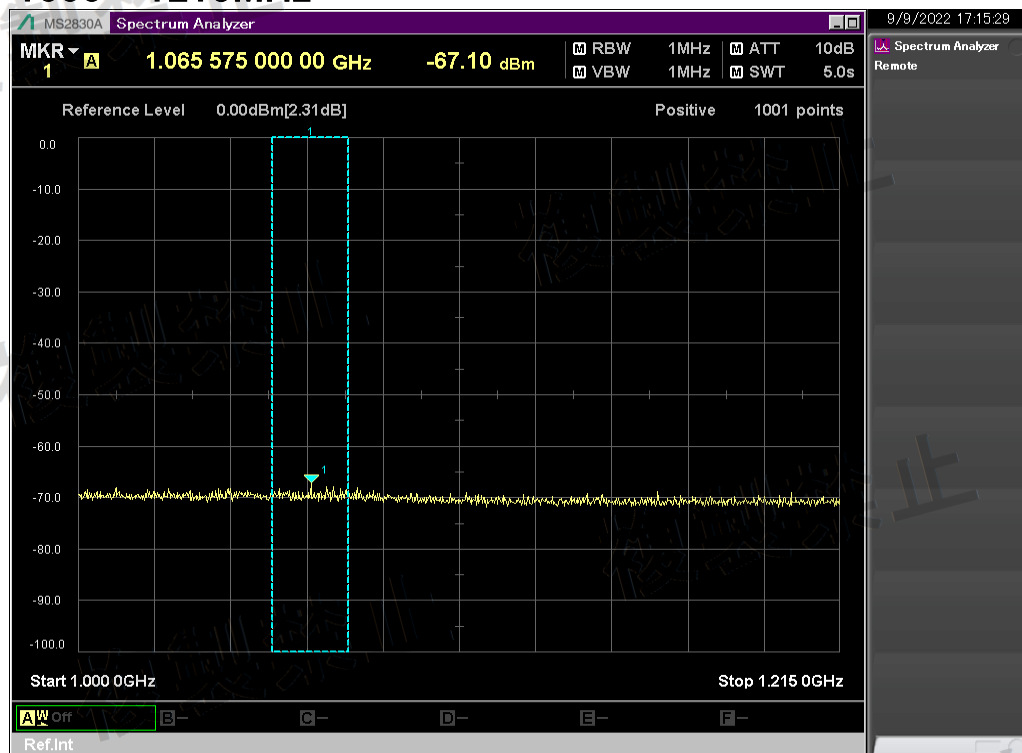
923.8MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
900~915MHz



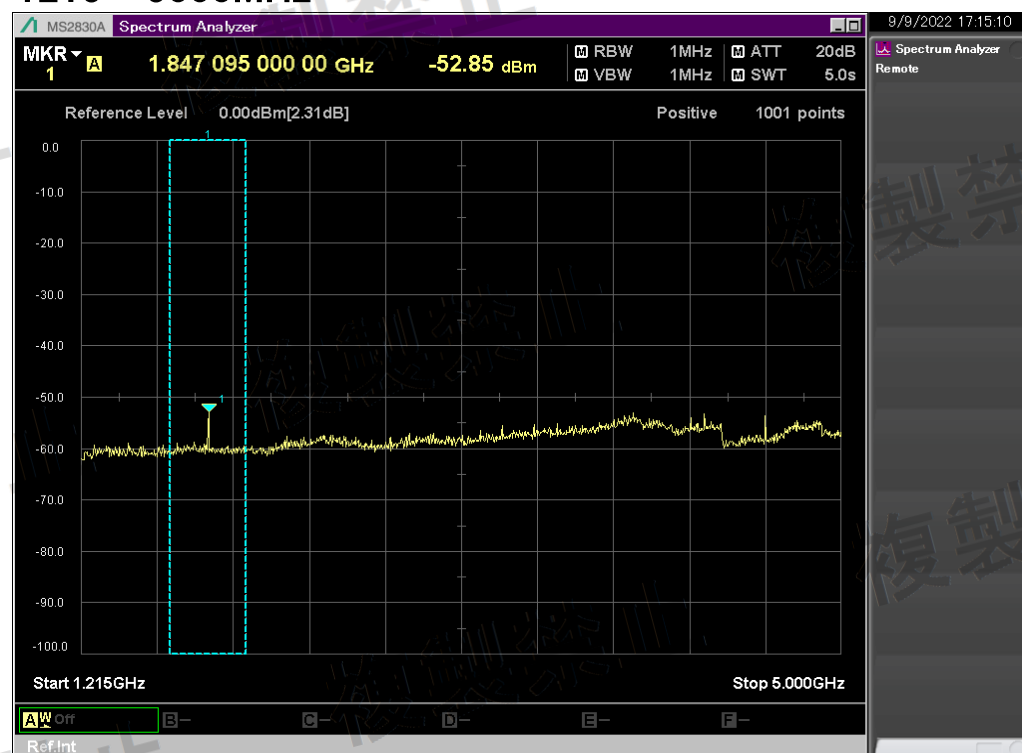
923.8MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
930~1000MHz



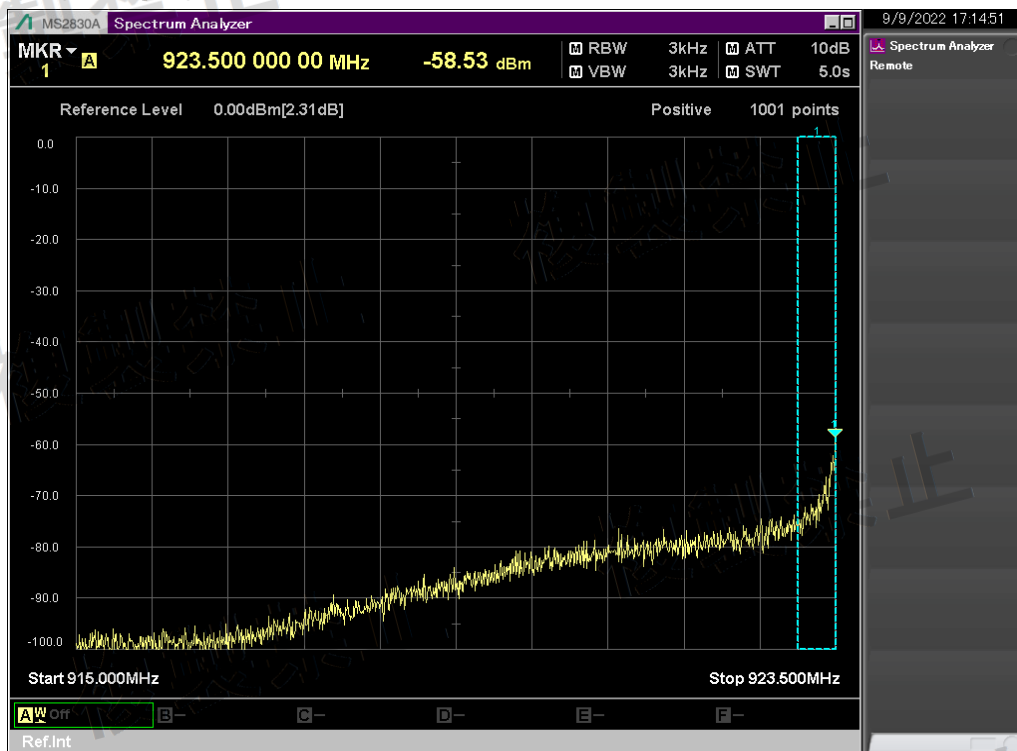
923.8MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
1000~1215MHz



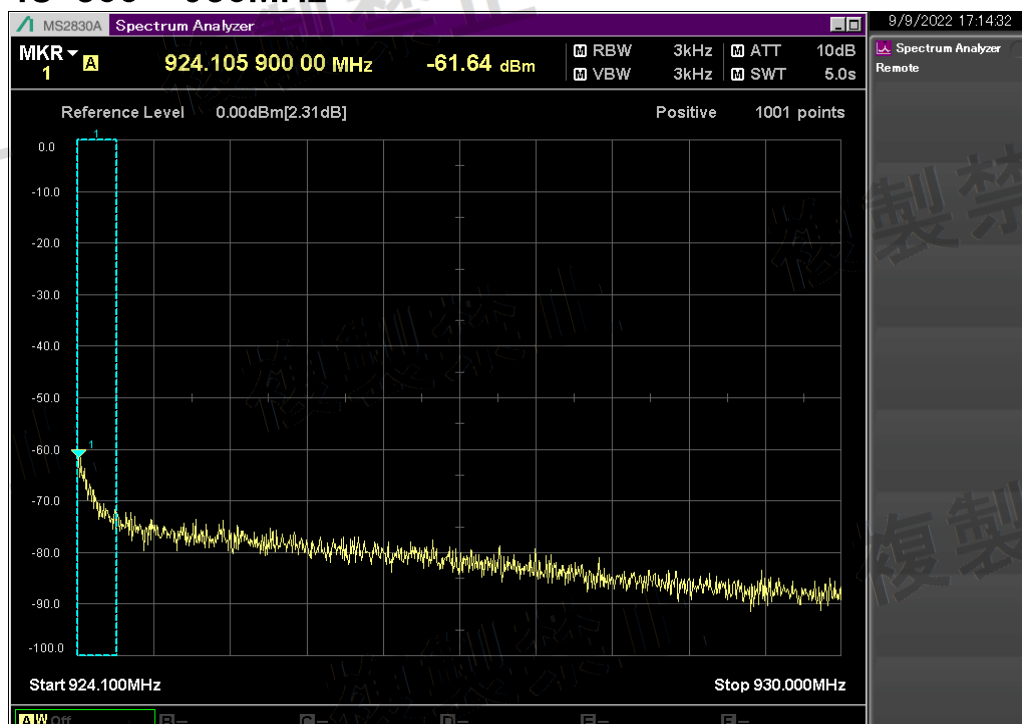
923.8MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
1215~5000MHz



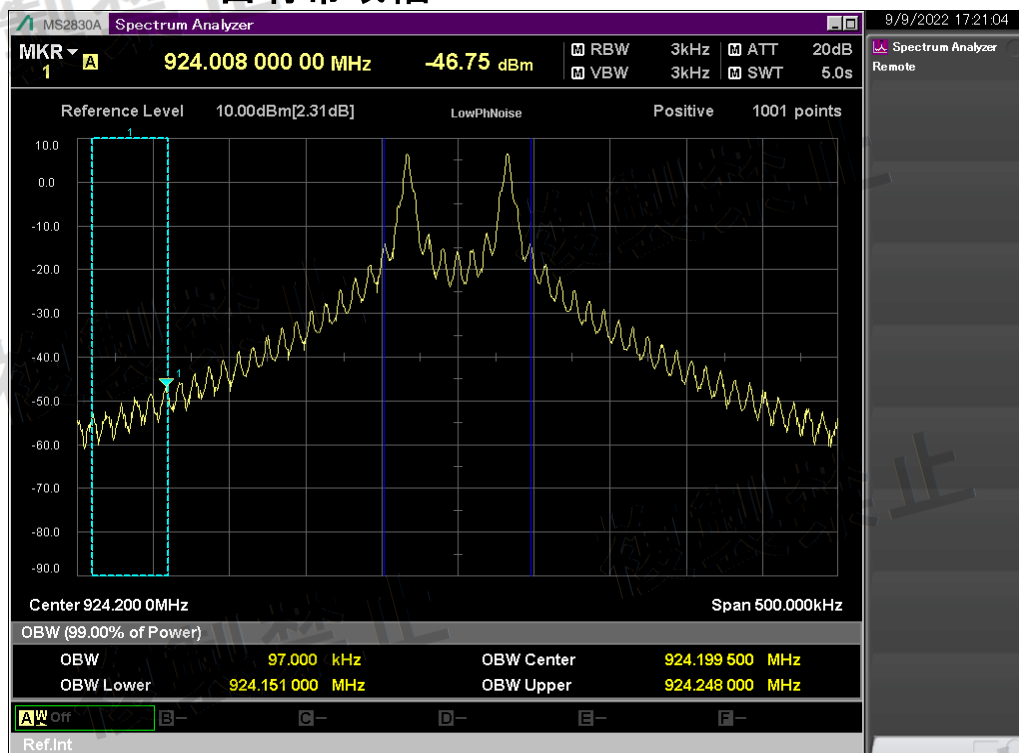
923.8MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
915~fc-300MHz



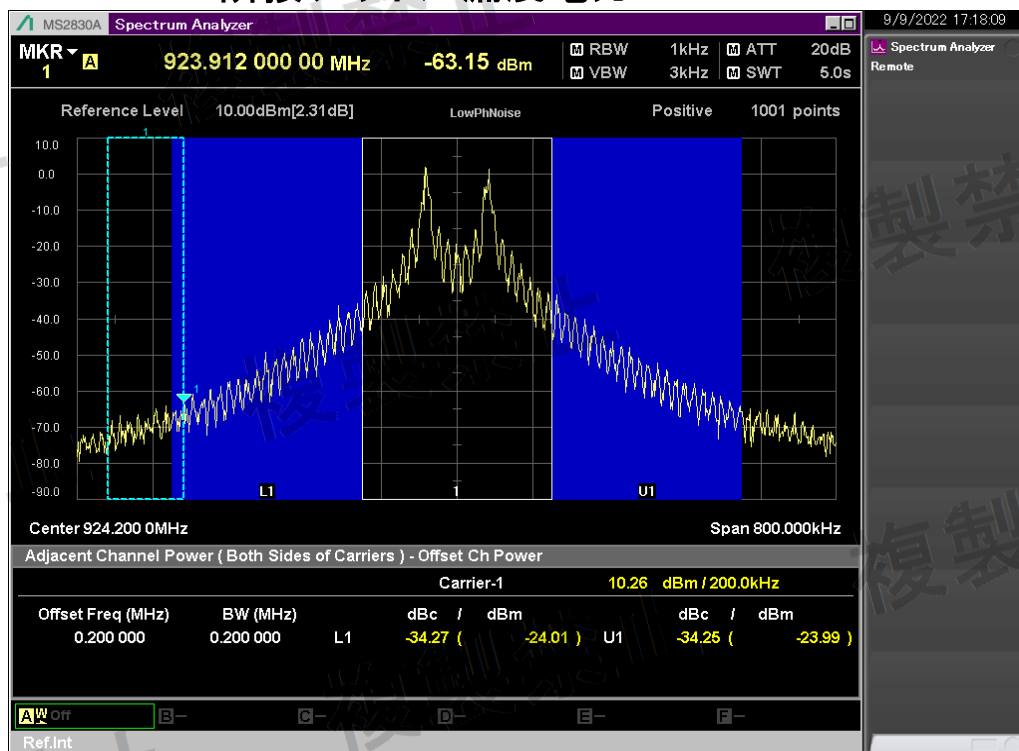
923.8MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
fc+300~930MHz



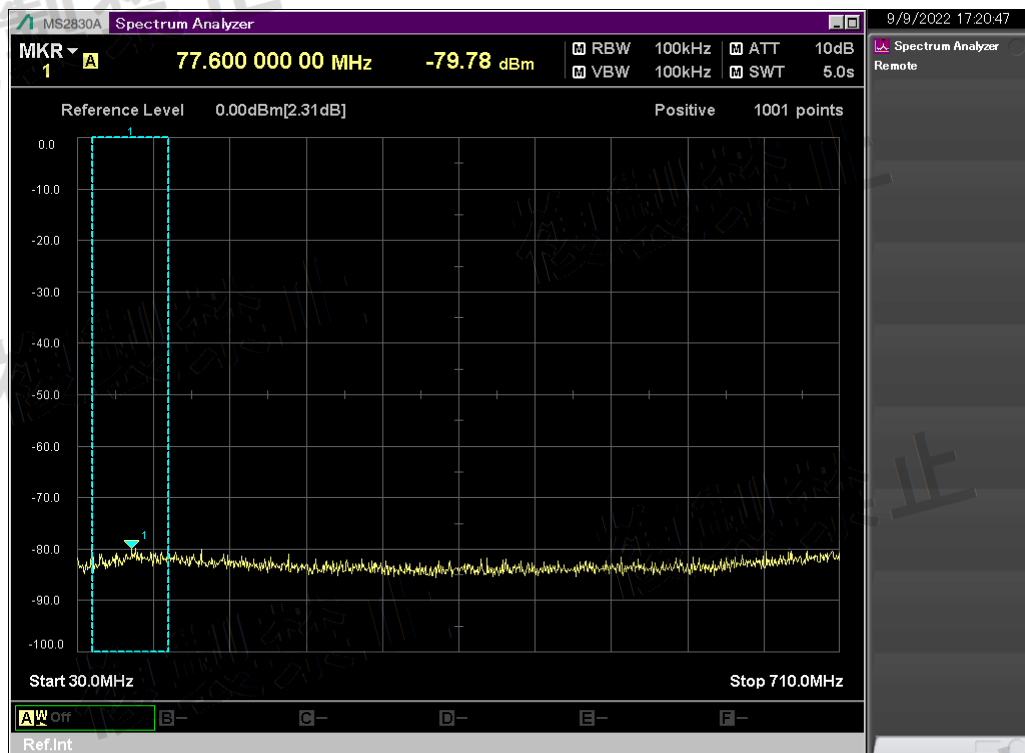
924.2MHz 占有帯域幅



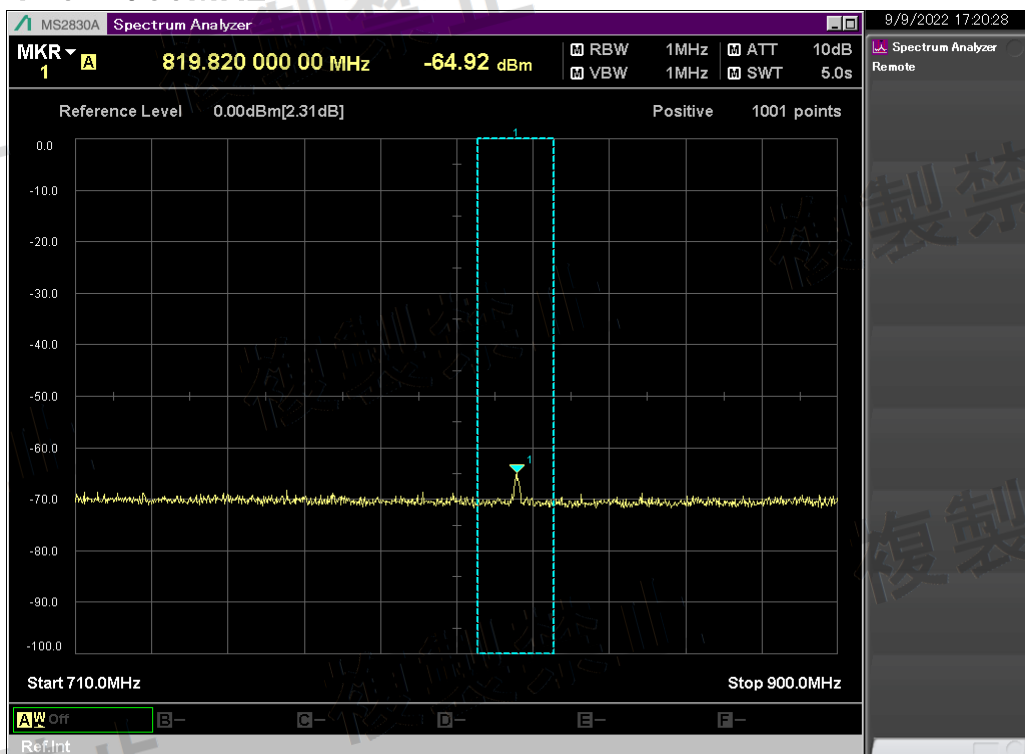
924.2MHz 隣接チャネル漏洩電力



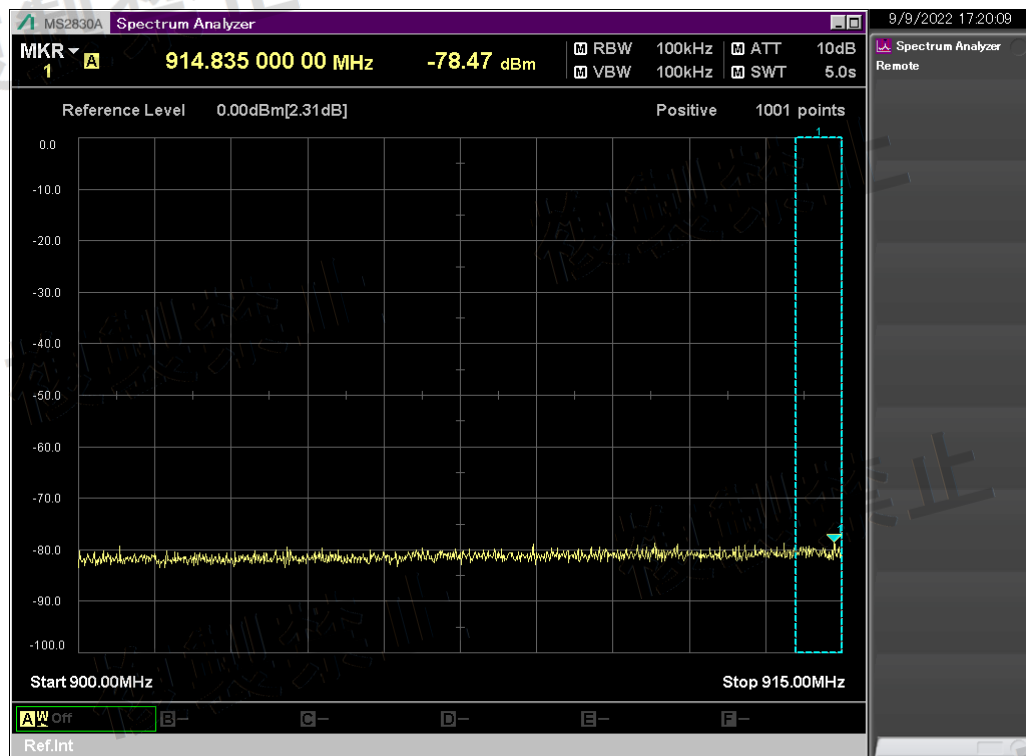
924.2MHz スプリアス発射又は不要発射の強度 30~710MHz



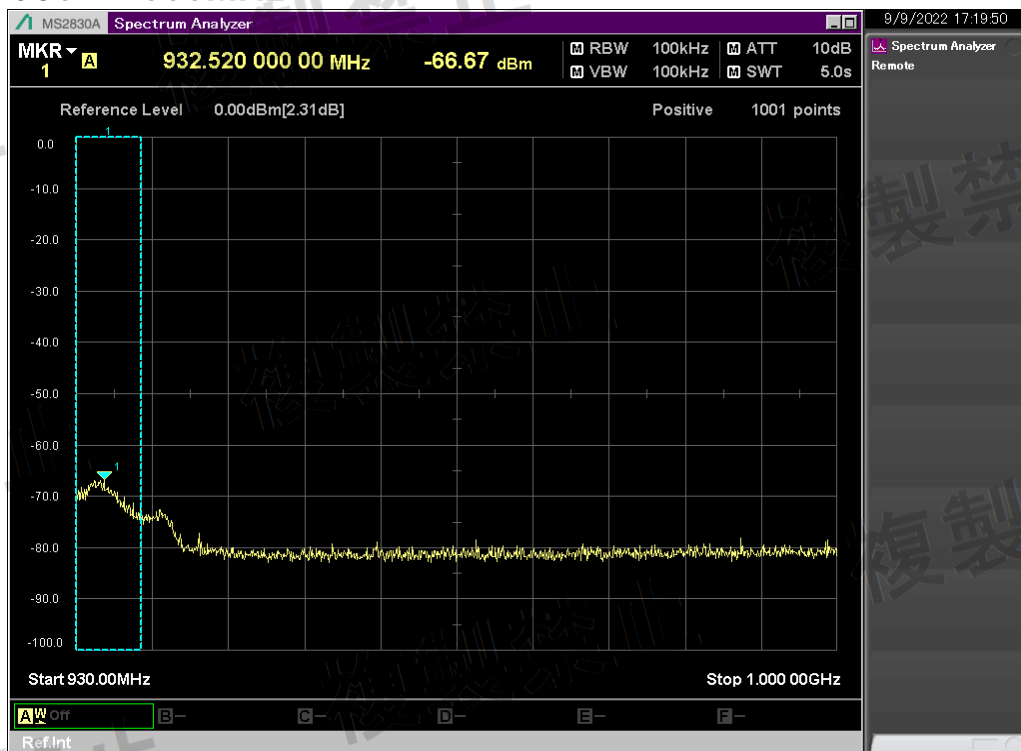
924.2MHz スプリアス発射又は不要発射の強度 710~900MHz



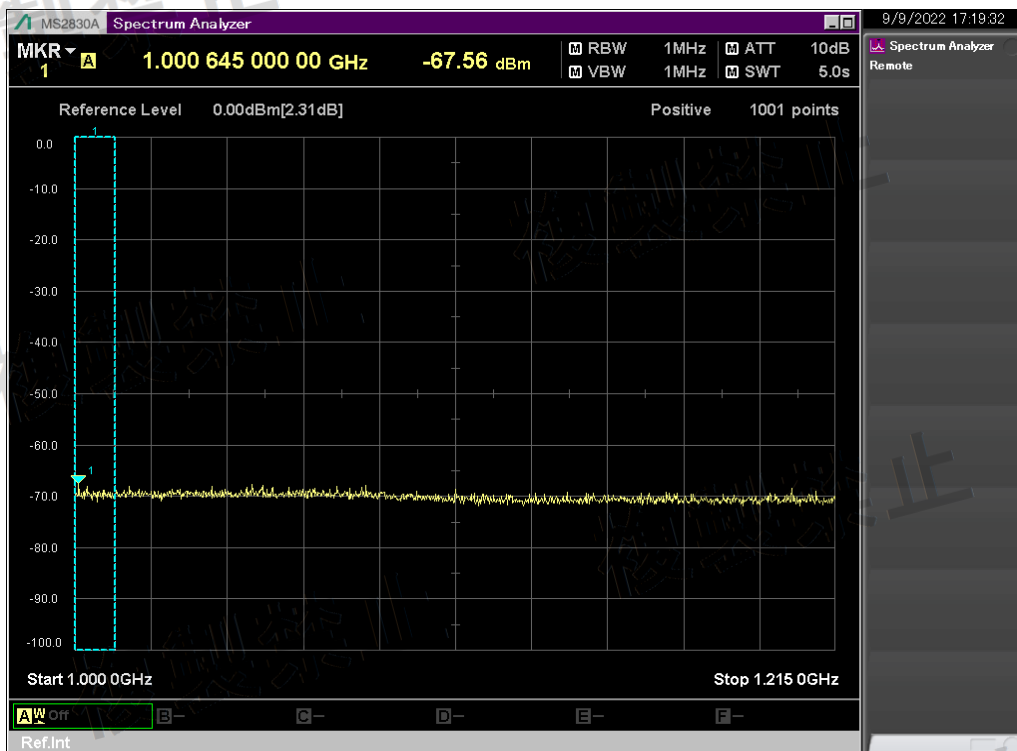
924.2MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
900~915MHz



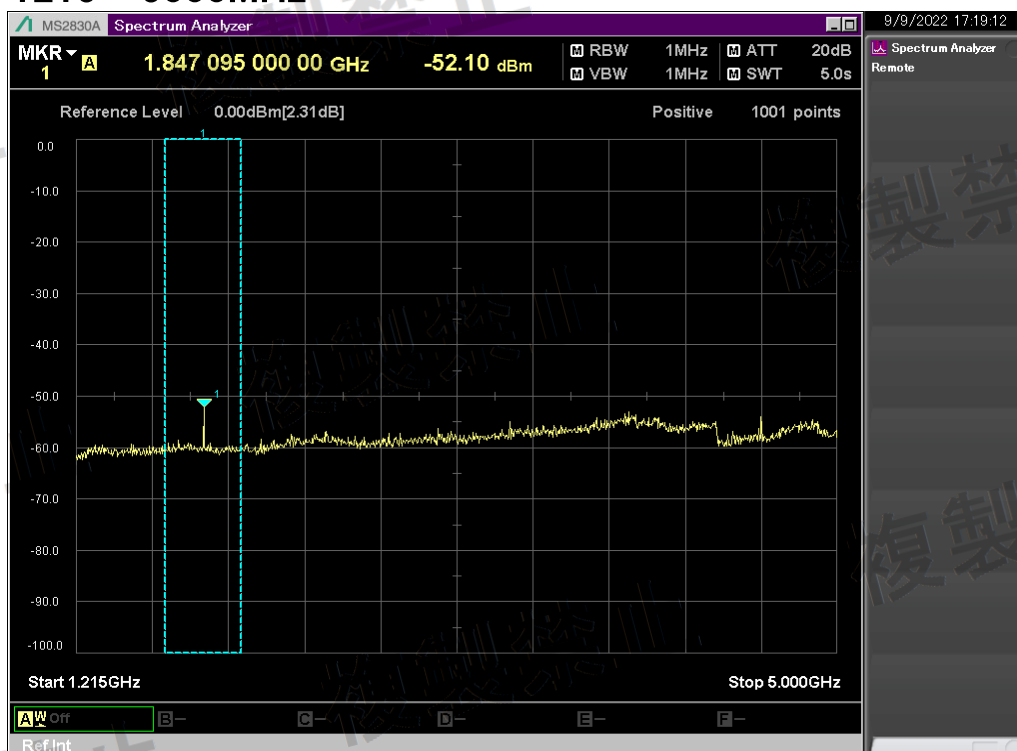
924.2MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
930~1000MHz



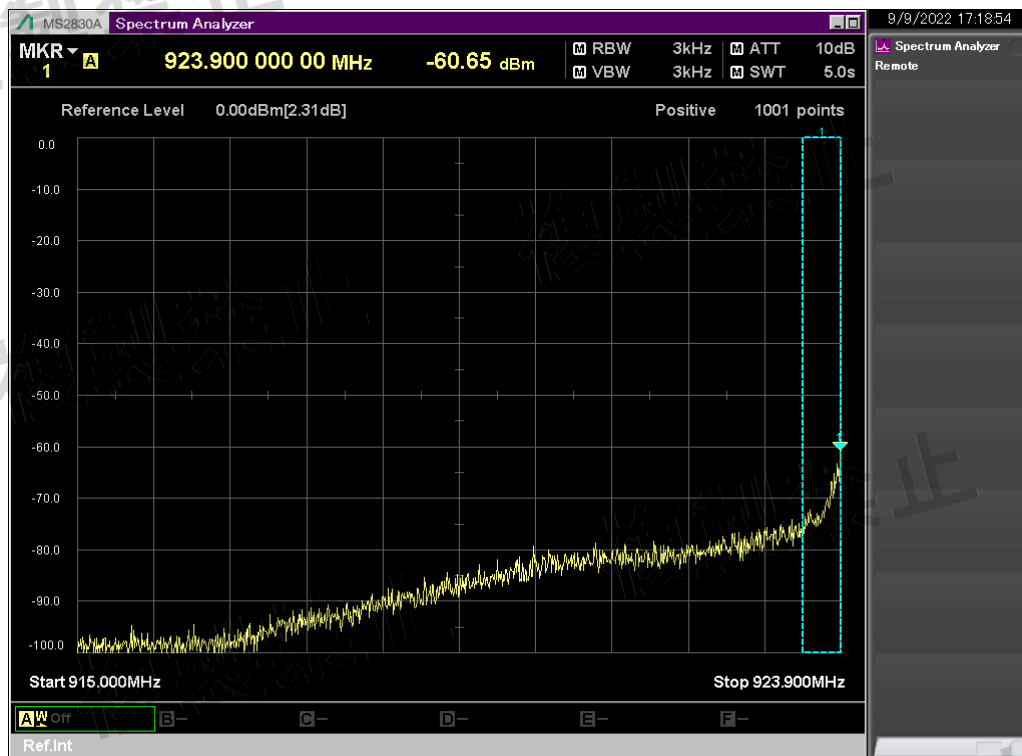
924.2MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
1000~1215MHz



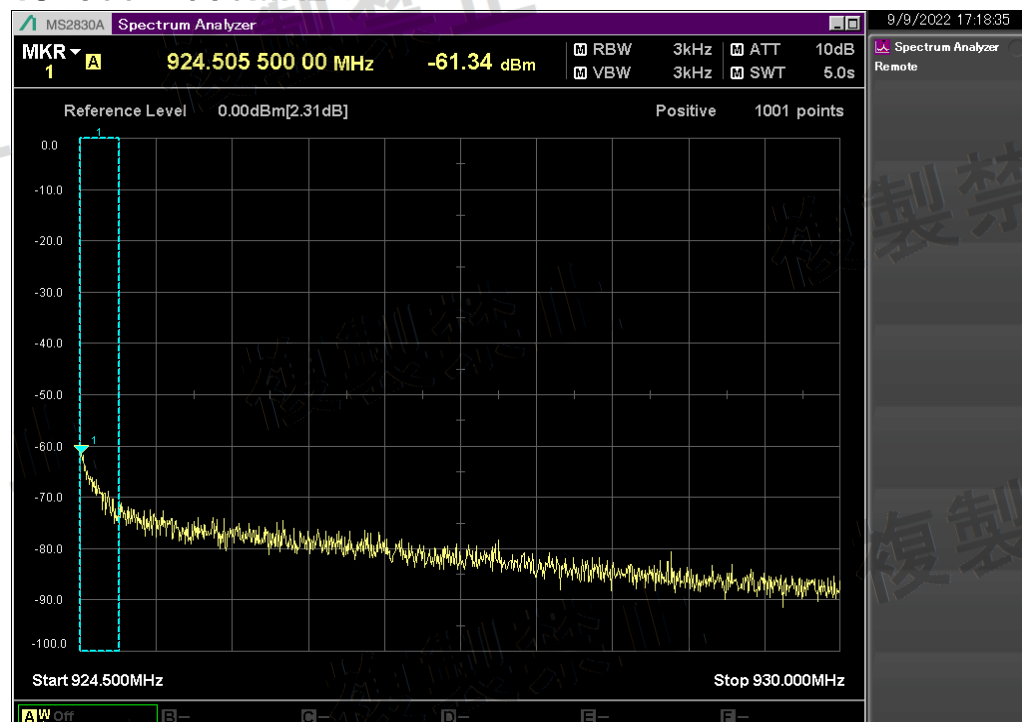
924.2MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
1215~5000MHz



924.2MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
915~fc-300MHz



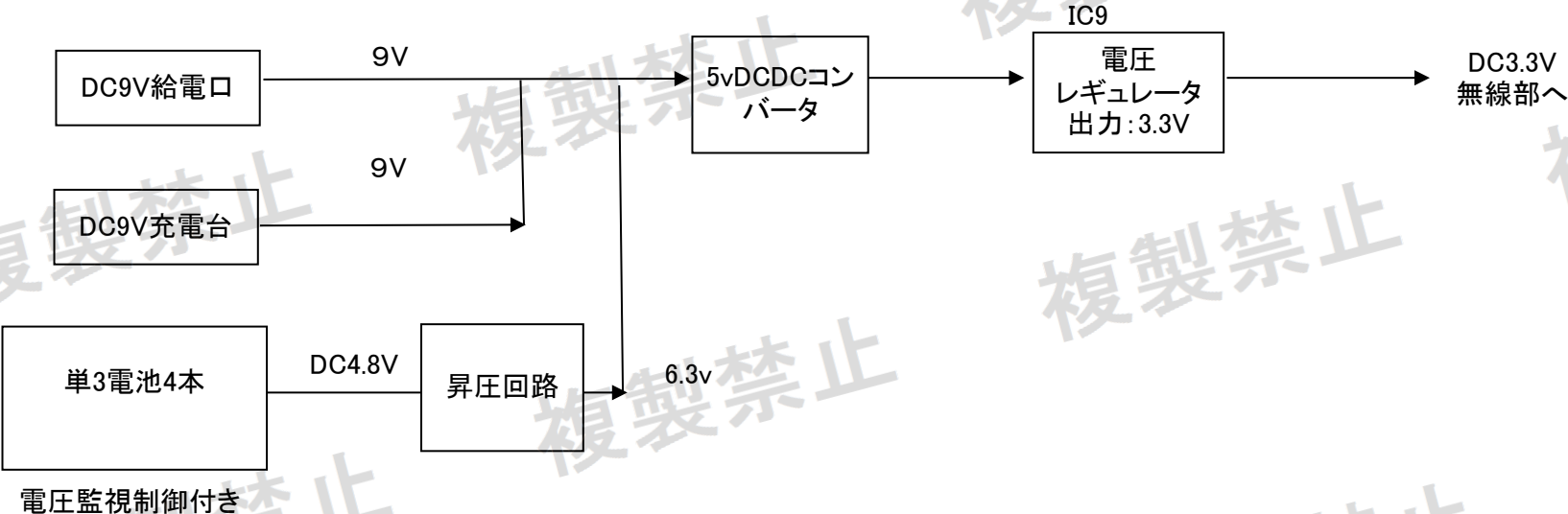
924.2MHz スプリアス発射又は不要発射の強度
fc+300~930MHz



別表

機器の定格電圧に対する無線回路の供給電圧の変動が1%以内であることを確認した結果を以下に示します。

■電源系統図(略図)



■入力電圧変動時の無線部用レギュレータ出力確認

	DC9V						DC電圧(4.8V)			(単位)
	ACアダプタ			充電台			常圧	+10%	-10%	
入力電圧(V)	常圧	+10%	-10%	常圧	+10%	-10%	常圧	+10%	-10%	V
IC9出力電圧(V)	9	9.9	8.1	9	9.9	8.1	4.8	5.28	4.32	V
偏差(%)	基準	-0.030	-0.030	基準	0.000	0.000	基準	0.061	0.061	%
公称値に対する偏差	-0.182	-0.212	-0.212	-0.273	-0.273	-0.273	-0.273	-0.212	-0.212	%

結果

電源の入力条件が変動しても、無線部レギュレータ(IC9)の出力変動は1%以下(ほとんどなし)
(部品仕様として、出力変動1%以下の仕様のものを採用)